

平成 29 年度事業報告 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

公益社団法人日本炊飯協会

はじめに

米消費量が日本全体では減少している中、中食・外食市場は増加しているが、この業務市場のニーズに合わせた生産への取組みが不十分であり、業務用向けの米は不足してきたし、米価格は 3 年連続高騰となり業界の経営状況は厳しさを増しております。

このような事態の打開と米消費を守る為に、価格形成の透明化を求め積極的に活動してきましたが、今後とも他団体と協力し強力に建議等の活動をしてまいりました。

また当協会は主に①炊飯 HACCP 認定事業、②ごはんソムリエ認定事業③ごはんサポートキャンペーン事業、④災害時緊急支援事業など社会貢献度の高い公益目的事業を実施してまいりました。

今後とも事業の更なる充実をはかる所存ですので、関係各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。以上

平成 29 年度事業計画に基づき、下記の通り事業を展開しました。

理事会

- *第 1 回理事会：平成 29 年 4 月 20 日 (木) 参議院議員会館 B102 会議室にて開催。会長及び専務理事より業務執行状況を報告し、平成 28 年度の事業報告、収支決算報告及び会員の入会についてそれぞれ諮り承認可決した。
- *第 2 回総会時理事会：平成 29 年 5 月 17 日 (水) コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 3 階龍田の間ロビーホールにて開催。総会で承認された理事の中から、会長：坂田文男、副会長：奥正明、千田法久、木津嘉人、専務理事：三橋昌幸、理事顧問：福田耕作、川島弘士、富澤三継を選定した。会員の入会について諮り承認可決した。
- *第 3 回理事会：平成 29 年 12 月 6 日 (水)、参議院議員会館 1 階 106 会議室にて開催。会長及び専務理事より業務執行状況及び収支中間報告をし、平成 30 年度の事業計画と収支予算、及び会員の入会についてそれぞれ諮り承認可決した。

総会

- *平成 29 年 5 月 17 日 (水)、コートヤード・マリオット銀座東武ホテル「龍田」にて通常総会を開催した。議長、専務理事より平成 28 年度の事業報告と収支決算の報告があり承認可決した。また議長及び専務理事より、理事改選期であったが理事立候補がなかった旨報告の後現理事の中から 16 名 (福田耕作、坂田文男、奥正明、千田法久、木津嘉人、川島弘士、富澤三継、平井浩一郎、柳原健志、渋川尚武、岩永眞佐子、江上栄子、木元教子、山東昭子、山下幸子、三橋昌幸) の留任と新たに 1 名 (中村勝浩) の理事就任と現監事 2 名 (中野修、浅木克眞) の留任を承認可決した。また総会時理事会で、会長に坂田文男、副会長に、奥正明、千田法久、木津嘉人、専務理事に三橋昌幸また理事顧問に福田耕作、川島弘士、富澤三継を選定したことを報告した。総会后「平成 30 年以降の稲作産業の展望」について JP0 理事長の高木勇樹氏の講演を開催した。懇親会は所轄官庁の農林水産省及び関係団体の来賓の方々の出席のもと会員企業と親睦を深め盛会に終了となった。
- *平成 30 年 1 月 24 日 (木)、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルの龍田にて臨時総会を開催した。議長及び専務理事より平成 30 年度事業計画及び収支予算についてそれぞれ諮り承認可決した。理事にあらたに山口大輔、監事に中野修に替わり渡辺靖治より立候補がありそれぞれについて諮り承認可決した。総会后、新年賀詞交歓会を開催し、所轄官庁である農林水産省の方々、関係団体の来賓の方々に多数ご出席頂き、会員企業の方々と交流を深め盛会に終了となった。

《各事業報告》

1. HACCP 手法支援法の高度化計画認定及び HACCP 認定事業

平成 29 年度の HACCP 高度化計画認定は、6 社 ((株)京樽、(株)豊炊飯、ボン・リー宮城(株)、ダイワサミット(株)、エスアールジャパン(株)、(株)そらちファーム)、HACCP 認定は、この 6 社に(株)ミツハシを加えた 7 社となり、平成 29 年 3 月末現在、HACCP 認定したラインは 107 となった。

2. HACCP 更新認定

HACCP の更新監査を 69 件実施し全て HACCP 審査会で承認を得て認定を更新した。

3. 米飯品位格付認定事業<ごはんランキング>

認定テストは、平成 29 年 6 月 6 日 11 社 11 検体
平成 29 年 10 月 19 日 11 社 11 検体
平成 30 年 2 月 20 日 11 社 11 検体

食味官能検査は(株)ミツハシ、精米分析は(株)川島屋の協力を得て、年間 3 回実施し、延べ 33 社が参加しました。

3. 食品衛生推進事業 (斡旋物資)

前年並みの取扱いとなりました。

4. 研修指導事業

(株)しゃりー、(株)関西スーパー、(株)わびすけ、(株)ジャンボリア、(株)京樽、(株)そらちファーム、三八五フーズ(株)、(株)豊炊飯、ボン・リー宮城(株)、ダイワサミット(株)の 10 社に、事前アドバイスをを行った。

また年 1 回の更新監査で HACCP 審査員が各工場を訪問した際、衛生管理レベル向上のため一般的衛生管理を中心とした、指導助言を行う。

5. ごはんソムリエ認定事業

第 13 回の「ごはんソムリエ認定試験」を平成 30 年 3 月 12、13 日に開催し 201 名の応募を受け付けた。炊飯協会会員の他、農業者、米穀店、主婦、学生、行政機関等、36 の都道府県及び韓国及び台湾から参加があり、今回も応募は多彩な顔ぶれとなり、ごはんソムリエ認定者は 1,402 名となった。

6. 広聴広報事業

- ①「ごはんサポートキャンペーン」は、昨年と同様イベント件数を先着 100 件、ごはん量上限 100 kg として、会員 10 社の協力を得て実施した。
実施イベント 124 件、参加者 5 万 7 千人、ごはん使用量 7,394kg となりました。
- ②『ごはんタイムス』を、7 月・11 月・3 月の 3 回発行し、会員に配布すると共に、会員外約 350 社の炊飯業者、ごはんソムリエ認定者、図書館 41 に贈呈配布した。
- ③「米マッチングイベントに備え」「食中毒予防対策」「公正取引委員会に提出」(米価 3 年連続の高騰)等、解説を加えた通知文書を作成し、各会員に配布した。
また食品業界関連の記事の切り抜き等をまとめて毎月 1 回会員へ発送しました。

7. 会員の入退会

今年度の入会は、
正会員 2 社 株式会社パールライス大分経済連、株式会社米心石川
賛助会員 2 社 不二精機株式会社、タマノイ酢株式会社
平成 30 年 3 月末現在、正会員 68 社・賛助会員 24 社となった。
(平成 30 年 4 月に、正会員として、三八五フーズ株式会社加わる)

8. 国産米使用推進団体協議会

平成 29 年度は、全国米穀工業協同組合がメンバーに加わり、引き続き米価格形成の透明等を大きなテーマとして取組みました。

加盟団体

(公社)日本べんとう振興協会、(公社)日本炊飯協会、(一社)日本惣菜協会、
(一社)日本弁当サービス協会、全国米穀工業協同組合、(株)加工用米取引センター
特別顧問(役員)の、高木勇樹氏(元農水省事務次官)も続投となった。

その他

【HACCP 審査委員会】

認定審査に伴う委員会を 26 回開催しました。

【他団体等セミナーへの参加等】

(財)食品産業センター連絡協議会月例会議に参加等、他団体等主催による各種講演会に、積極的に受講参加し情報収集等を行いました。

平成 29 年度分の炊飯量市場規模実態調査を実施しました。(毎年明けに実施)

緊急連絡先一覧表を作成し、平成 30 年 3 月末に各会員に送付しました。 以上